

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第3回）議事概要

日 時 令和6年（2024年）6月12日（水）14:00～16:00

場 所 宝塚市役所第二庁舎1階 会議室A・B

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長	●	
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長	●	
宝塚市光明地域まちづくり協議会	小林 敏明会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長	●	
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長	●	
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表	●	
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長		
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長	●	
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	島津 早苗代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	赤阪 俊一会長	●	
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長	●	
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表	●	
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長	●	
中山台コミュニティ	松下 義弘会長	●	
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	奥野 廣明代表補佐	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	前田 幸夫会長		
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長	●	

<その他>

市民交流部 総谷部長、藤田次長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長他

都市安全部 伊津次長

総合防災課 山田課長

宝塚NPOセンター 平岩氏

宝塚市社会福祉協議会 藤井課長、太田係長

傍聴者 なし

議事概要（要旨）

1. 自己紹介

各まちづくり協議会代表者及び市民交流部職員より自己紹介があった。

2. 令和6年度宝塚市総合防災訓練（地域訓練）参加者の募集（総合防災課）

総合防災課より、標記について、配布資料に基づいて説明があった。意見交換の内容は以下のとおり。

- ア 中止の場合という記載があるが、台風が起きた際に避難訓練を実施できたら、まさに実践になるため非常にいいと思うが、中止になるのか。
- イ （総合防災課）警報が発令されたり、警報が発令される可能性が高い場合は、災害対策の業務を務めなければいけないため、中止となる。
- ウ 雨天順延にはならないのか。
- エ （総合防災課）9月1日以外の日程で段取りができていないため、現在のところ中止にする予定。
- オ 宝塚小学校体育館のトイレが2階にあり、和式である。これを改修いただきたい。以前から改修のお願いをしているが、計画等の提示がない。
- カ （危機管理担当次長）前任の協働の取組推進担当次長より引継ぎを受けているため、教育委員会と連携を取っていく。
- キ 全体の流れはどのようになるか。参加者は避難者として参加するのか。
- ク （危機管理担当次長）詳細は今後決めていくが、イメージとして、避難所 HUG をリアルにして避難所運営を行う。参加者の皆様に役割を持っていただき、体験していただく訓練にしたいと思っている。

3. 令和6年度まちづくり協議会代表者交流会の活動について

市民協働推進課より、配布資料に基づいて説明があり、座長から報告があった。

- ア （座長）皆様と活発な意見交換をすることが重要であると考えているため、どういったテーマ、どういう仕組み、内容について意見交換をしたらいいかについて、座長副座長の3名と市民協働推進課で相談して提示したいと思っている。現在考えているテーマの一つが防災である。台湾で起きた災害時の対応を見ていると、日本との違いに唖然とした。すぐに台湾のような災害対応ができるとは思わないが、どのように対応したら我々も台湾のような災害対応ができるかということをお客様と一緒に検討していきたい。この件については、今後、話をしていきたいと思っている。

4. 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和6年度・第2回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、修正後、ホーム

ページへ公開することが承認された。

5. 地域ごとのまちづくり計画

(1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

中山台コミュニティの対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。

【中山台】

中山台コミュニティセンター前の幹線道路で中学生が事故にあった。地域の安全対策としてどういうことができるのかを市の担当部局と対話を行った。警察とも話をした。対話を行った感想として、交通事故対策で市の担当部局と対話をする場に警察も同席していただくことは難しいようだった。組織が異なるので難しいと思うが、同じ話をするので警察も同席してもらえないかと思った。地域の方の話を聞くと多数の意見があるため、自治会やコミュニティでは対応しきれない。市から注意喚起の看板設置の提案をいただき、先日市へ看板設置のお願いをした。今回だけでは終わらせず、今後は、小学校の通学路の安全対策について話をしようと考えている。

時間をかけて対応する案件については、対話の仕組みを活用して進めていく予定。しかし、対話の仕組みを活用すると時間がかかるというデメリットもあるため、早急に対応が必要な案件については、コミュニティや自治会が直接担当部局に出向いて依頼をしたほうが早いという意見もあった。時間をかけて対応する案件と各自治会で対応する案件で分かれると思う。中山台コミュニティでは、各自治会長と意見交換をし、対応が必要なことについて話し合っているため、自治会からお願いするという対応をしていく。

【意見交換】

ア 安全対策への対応は、市・県・警察とそれぞれで、市は比較的早く対応している。一つ確認したいのは、年1回、小学校通学路の合同点検を行っており、昨年合同点検を行ったが、点検結果に対し、どのような対策を講じるかの報告がない。教育委員会、小学校、小学校PTA、警察、防犯交通安全課等で通学路を回って、通学路の安全対策について協議し、どういう対策をするかというのを話し合っている。そこにまちづくり協議会も関わっている。市は看板を設置したといった連絡を早くくれるが、警察やその他組織は結果的にどういう結論になったのかという報告がない。お願いになるが、フィードバックをするように市民協働推進課から教育委員会へ働きかけをしてほしい。問題に対してできる、できないはあると思うが、フィードバックはしっかりしてほしいと思う。そういう面では対話シートは有効であると思う。

イ 毎年夏に、安全対策推進委員会と小学校で合同パトロールを行っている。通学路の危険箇所をあげて、幹事会に諮る。その後、小学校から担当部局へ要望をし、

3月末には回答をもらっている。

ウ 合同点検を行い、危険箇所の対策についてその場で回答することもあるかと思うが、各学校の通学路の危険箇所を持ち寄ってどういう対策をとるかという話し合いを教育委員会が主体となって、関係機関と行うと聞いている。例えば、市で対応ができることについてはすぐに回答をいただけるが、警察管轄の案件やインフラ面での整備が必要な案件はすぐに回答ができない。すぐに回答ができないという案件は、すべて記録をとっているが、昨年を実施した際の回答は現時点でもらえていない。

エ 何度も回答を求めることも一つの方法かと思う。

オ (市) 小学校通学路の合同点検はどこ地域でも実施されていると思う。フィードバックをすることは重要であるため、教育委員会へ事情を説明し、地域へフィードバックをするよう伝える。

カ 開発中の住宅地が多く、バス道路に横断歩道がないという問題がある。自治会から要望をしている。小学校の安全対策委員会がなくなり、学校運営協議会で対応するようになってきている。学校運営協議会は年3回しかないため、バス道路の横断歩道設置要望の話が学校運営協議会ではできない。また、校長先生は市外の方でご自身の地域の自治会活動があるため、まち協の運営委員会に出席されていない。教頭先生は働き方改革のため土日は出勤しないとおっしゃっている。また、通学路の雑草を刈ってほしいという要望をしているが、市の基準で道路際は年1回しか刈らない。地域の方が有志で草刈をしてくれている。こういうことについても今後この場で話をしたいと思っている。

(2) (※再周知) 令和5年度地域ごとのまちづくり計画進捗確認シートの提出(6/14(金) ㄨ)

市民協働推進課より、進捗確認シートの提出依頼(令和6年6月14日(金) ㄨ)について、再周知があった。

6. 地域活動について

(1) 「魅力的・特徴的なまち協活動(多様な時代の参加につながった事例、負担軽減・事務効率化を図った事例等)」についての紹介・質疑応答(末広)

【まちづくり協議会コミュニティ末広】

(発表)

代表者より、配布資料に基づいて発表を行った。

(2) (1)の他、地域活動についての情報共有・意見交換

ア ネット環境の維持費に月8,000円以上かかっている。ネットを解約するという意見も出ている。他のまち協はいくらぐらいかかっているか伺いたい。

イ 使うときだけ(モバイルルーター等をレンタルして)支払うという案もある。

ウ (NPOセンター) デジタル化ということで、コロナ禍にオンライン化を推奨していたが、オンライン化だけがデジタル化ではない。Wi-Fi に関しては使うときだけ契約できるもの、zoom も使うときだけ契約できるため、使用頻度や会計状況に応じて対応していただければと思う。現在契約をされているのであれば、どう活用すれば役立つのかということを考えないといけないと思う。NPOセンターにご相談いただければと思う。

エ 契約されている会社によって金額は違う。

オ まち協では月 5,000 円ぐらいを支払っているが、最近自治会でも Wi-Fi を契約し、こちら月 5,000 円ぐらいを支払っている。どういう契約になっているかは分からないが、金額を見直すことは必要かもしれない。また、ネット環境を整備することによって自宅で作業した資料をまち協の活動拠点のプリンターからプリントアウトできる。

7. 市民協働推進課からのお知らせ

市民協働推進課より、以下(1)～(4)について、周知を行った。

- (1) (※定期周知) 個人情報保護に関するお知らせ
- (2) (※定期周知) イベント開催時における注意点
- (3) 宝塚市議会 70 周年記念シンポジウム開催のお知らせ (議会事務局)
- (4) (※再周知) 令和 6 年度まちづくり協議会補助金の申請について

8. 社会福祉協議会からのお知らせ

社会福祉協議会より、以下について、報告があった。

- (1) 令和 6 年度 宝塚市社会福祉協議会会員募集について

9. その他

特になし。

10. 今後の日程

市民協働推進課より、配布資料に基づき、今後の開催予定について周知があった。